



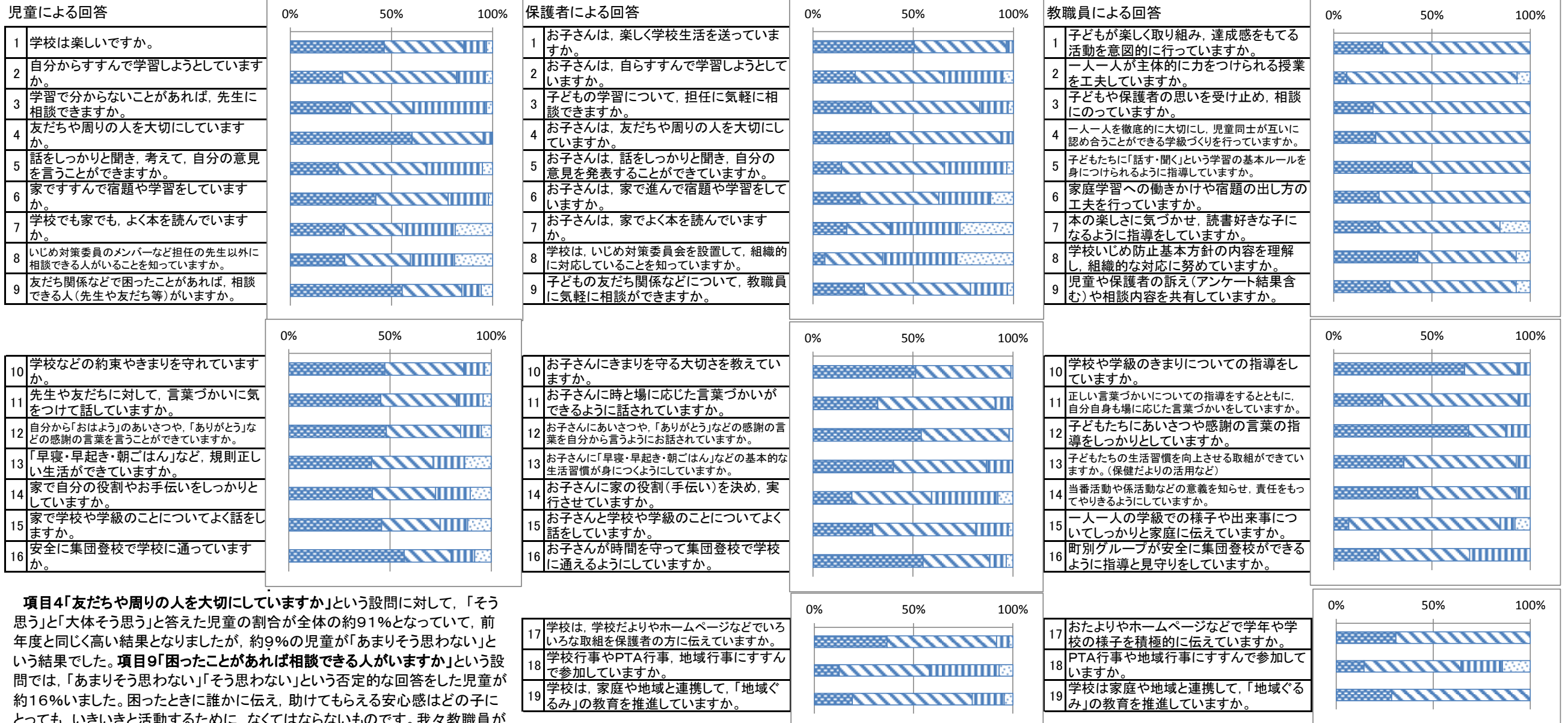
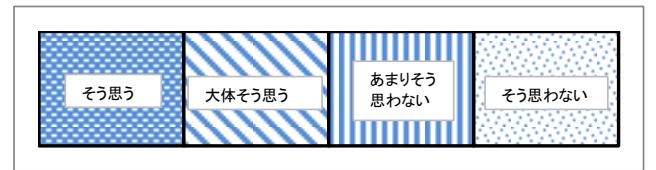
祥栄だより～前期学校評価～

平成30年 9月28日
京都市立祥栄小学校
校 長 堀出みゆき
TEL075-681-1556



<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/syouei-s/>

7月に実施いたしました学校評価の集計をお知らせいたします。学校評価にご協力いただき心からお礼申し上げます。集計・結果と主な考察を掲載しましたのでご一読いただきますようお願いいたします。今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



項目4「友だちや周りの人を大切にしていますか」という設問に対して、「そう思う」と「大体そう思う」と答えた児童の割合が全体の約91%となっていて、前年度と同じく高い結果となりましたが、約9%の児童が「あまりそう思わない」という結果でした。**項目9「困ったことがあれば相談できる人がいますか」という設問では、「あまりそう思わない」「そう思わない」という否定的な回答をした児童が約16%いました。**困ったときに誰かに伝え、助けてもらえる安心感はどうの子にとっても、いきいきと活動するために、なくてはならないものです。我々教職員が一人一人を大切に見取ること、児童が共に助け合い、高まり合える学校づくりを進めることが大切であると考え、取組を進めていきます。

項目7「よく本を読んでいますか」という設問に、児童による回答と保護者による回答に開きが見られました。家では児童はあまり本を読んでいないのではないかと考えられます。小学生の感受性豊かな時期に活字に親しんでおくことはとても大切です。本を自然に手に取れるように、読み聞かせや魅力ある学級文庫の配置、読書週間などの取組を進めていきます。読書の秋とも言います。お忙しいとは思いますが、お子さんと本を手に取り、一緒に読書を楽しむ時間をとってみてはいかがでしょうか。

項目8「いじめ対策委員会について知っていますか」という問いに、「そう思う」と「大体そう思う」という肯定的な回答は児童で約61%、保護者では約35%と

学校では、今年度から「いじめ対策委員会」のメンバーとその目的を朝会で全校児童に伝えることにしました。担任や学年の先生だけでなく、どの先生にも困っていることを相談できるように体制を整えています。そして、「いじめを許さない」という意識をどの児童も同じようにもてるようにいじめ問題に真摯に向き合っていきたいと考えております。ご家庭、地域におかれましても、気になることがあれば、すぐに学校にお知らせください。多くの目で子どもたちをいじめから守れるようにご協力をお願いします。

項目12「あいさつや感謝の言葉を言うことができますか」という設問に対して、児童のおよそ85%が「そう思う」「大体そう思う」と回答していました。また、保護者への「自分から言うようにお話されていますか」という設問には98%が肯定的な回答でした。いつもあいさつをしている児童がいる一方で、なかなか自分からあ

あいさつは人と人をつなぐ第一歩であり、とても大切なものです。自分から相手との良好な関係をつくっていけるように、自然にあいさつや感謝の言葉が言えるようになってほしいと願っています。児童の周りにいる大人がお手本となり、あたたかい雰囲気の中で自然に児童からあいさつや感謝の言葉が出るよう、みんなで育てていきたいと思っております。

学校運営委員会においてもご討議いただき、「大きな声で目を見てあいさつする子は犯罪に巻き込まれにくい。」「遅い時刻に一人で登校する子は危険に巻き込まれやすくなる。」「登下校時の自動車の送迎、停車が通行の妨げになり、交通安全上も問題である」等のご意見をいただきました。

これらの評価結果やご意見をこれからの子どもたちの教育にいかしていきたいと思います。今後とも、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

「アパレル業界が取り組んでいることは数多くありますが、課題はまだまだ残っていて認知度がまだ低いことがわかります。

「アパレル業界が取り組んでいることは数多くありますが、課題はまだまだ残っていて認知度がまだ低いことがわかります。今後とも協力関係を築き、よりよい社会の実現を目指してまいります。」